

まちの話題

幼児センターおもちつき



12月8日 幼児センター



毎年恒例のおもちつきでは、園児1人ひとりがおもちを力いっぱいつき、つくられたもちを丸めて、みんなが食べやすい大きさに形作りを行いました。和やかな雰囲気の中、出来上がったおもちをとてもおいしそうに食べていました。

笑顔あふれるクリスマス会 モミの木クリスマス会



12月8日 バスター・ミナル

会場には大きなモミの木が飾られ、クリスマスの雰囲気に包まれる中、テーブル対抗のゲームや、しもりんとのジャンケン大会、○×クイズなど子ども達が楽しめるゲームが行われ、そのほかにも各自で持ち寄ったプレゼントの交換会や会場に来場したサンタによるケーキのプレゼントなど盛りだくさんの内容でした。今年のクリスマス会もたくさんの子ども達が参加し、テーブルに並べられたお菓子などの食べ物を囲み、笑顔いっぱいとて楽ししました。



青少年非行防止標語表彰式



12月5日 公民館



青少年に対する非行防止や薬物乱用防止、交通事故防止、いじめ防止への意識を高めることを目的に標語の募集が行なわれました。

下川小学校・中学校、下川商業高校からたくさんの応募があり、入賞した作品に対する表彰式が行われました。最優秀賞には下川中学校の生徒の作品「指先で 送った言葉はもう消えない」が選ばされました。表彰式では入賞者へ賞状と記念品が手渡されました。

「笑い」の力でまちづくり 町民交流会



11月28日 コモレビ

吉本興業株式会社と町との交流の一環として芸人「つちふまズ」の2人が訪れ、交流会が行われました。吉本興業株式会社とは、昨年行われた第1回SDGsアワードで、町は内閣総理大臣賞を、吉本興業株式会社はパートナーシップ賞を受賞し、これをきっかけにSDGsの推進に関して連携協定を結びました。今後吉本興業株式会社と共にSDGsの達成や下川町の活性化に向けた取組み、町民と連携した取組みを進めていきます。交流会では、つちふまズのネタの披露のほか、SDGsの説明や町民に対して町でどんなことをしてみたいか、町がどうなってほしいかななどを聞き、町の将来について共に考えました。



私たちの食を考える映画上映会



12月1日 ハピネス



映画上映会では、「食」をテーマに2本の映画が上映されました。1本目は「都市を耕す」という映画で、アメリカの新鮮な食材を得ることが困難な地域を舞台に、市民活動により地域内のアスファルトやコンクリートをガーデンに変えていくドキュメンタリー映画が放映されました。2本目「街を食べる」という映画では、町中に食べられる植物や野菜、果物を栽培しているイギリスの地域の取組みの映画が放映されました。

参加者は映画を通じ、地域で食べ物を食べられることの大切さや自分たちの身の回りの「食」がどうあるべきかを学びました。

北方領土を知る集い



11月28日 ハピネス



北方領土に対する理解の促進を目的に「北方領土を知る集い」が行われました。講師として北方領土復帰期成同盟上川地方支部の高塚正勝氏から「終戦前の島と自由訪問で見た島の現況」と題し、北方領土内の様子や生活について講演をいただいた後、DVD「われら四島の思い出」が放映され、戦争によってふるさとである北方四島を追われた島民の思いを知り、来場者は北方領土の理解を深めました。